

令和7年度 中型路線バス購入について

【事業費】25,000千円 (02-01-09-15-01-17-03 交通体系整備事業費 備品購入費)

【財 源】(国)7,500千円 (地域公共交通確保維持事業 公有民営方式による車両購入補助)

■事業の概要

遠山地区の小規模特認校通学者の通学手段に既存の公共交通を活用することにより、経費の削減やダイヤ新設による利便性向上など、公共交通の活性化を図ることができる。

広域バス遠山郷線の既存のダイヤ・ルートの調整によって下校はR7.4.1から路線バスの利用ができているが、登校時間は運行事業者(信南交通株式会社)の車両が不足しておりダイヤが新設できない状況となっていることから、中型バス1台を導入する。

○小規模特認校通学者の通学手段

	R6	R7	R8～
登校	【教委】ハイエース2台	【教委】スクールバス	バス遠山郷線(ダイヤ新設)
下校	【教委】ハイエース2台	バス遠山郷線	バス遠山郷線

- ・車両を市が購入して運行事業者にリースする「公有民営方式」により、購入費が国庫補助対象となり、運行事業者の財政負担の軽減及び平準化となる。
- ・車両リースは、国庫補助を除いた残額を5年で全額払い込む計画とし、払い込み終了後は運行事業者に所有権を移転する。

■事業で見込む効果

- ・遠山郷行き朝便の増便となるためバスの運行経費は年570万円増えるが、スクールバスの運行経費968万円(教育委員会支出)は不要となり、市全体で年約400万円の歳出抑制が見込まれる。
- ・児童生徒だけが利用するスクールバスとは違い、広く一般の方にも利用いただけるダイヤが増えるため、バス路線の利便性向上となる。

○小規模特認校通学に要する経費等(金額は千円)

経費	R7	R8～
路線バス事業		5,700
スクールバス運行	9,680	0
計	9,680	5,700